

いっしょでんわ

熊本県立
芦北支援学校

令和3年7月20日
発行



第174号

- 紙面内容
- ◎ 現場実習
 - ◎ 入学式特集
 - ◎ 本校運動会・芦高体育大会
 - ◎ 交流及び共同学習コーナー



校長
富永 佐世子

今年4月に本校校長に就任いたしました富永です。どうぞよろしくお願いたしました。今年20日ほど早い梅雨入りとなりましたが、空梅雨と思わせるような雨の降らなさで、雨の中で美しく咲き誇る紫陽花も花がしがみつきつつ終わってしまいました。いよいよ梅雨も終盤のようですが、この時期になると昨年の豪雨災害を思い出される方がたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。私は、7月豪雨災害の様子を自宅のテレビで観て、その被害の凄まじさに目が釘付けになり、自然災害の怖さと人間の無力さを感じていました。そして本校赴任後に被災状況と対応について写真で見たり、話を聞いたり、被災現場を確認したりするうちに、被害の甚大さを改めて痛感するとともに、復旧・復興に当

たつてくださった皆様に畏敬の念を抱かずにはいられません。また、全国からたくさんの方の温かい言葉やお見舞金を頂いたと聞きました。「全国各地から寄せられた共感が全身に染みわたり、私たちのエネルギーとなりました。寄り添ってくださいること、支えようとしてくださることがこんなにも元氣と勇氣に繋がるものだということを経験させてもらった。」と前校長は書かれていました。近年はコロナウイルス感染症への対応も加わり、一段と人との結びつきが阻まれようとする中に、この災害は改めて人の絆の大切さと人間の壁を乗り越える力を再確認できたように思います。とは言え被害の大きかった分教室の仮住まいは続いており、元の教室で授業ができるのは、令和4年度からの予定です。本校の方は夏季休業中に床の張替え工事を行います。まだまだご不便をお掛けすることもあると思いますが、今しばらくご辛抱いただきたいと思います。これからも職員一同、不便さを少しでも補えるよう精一杯に頑張っていきたいと思えます。

佐敷分教室 前期校内実習・現場実習



6月7日(月)から18日(金)の10日間、2・3年生が現場実習、1年生が校内実習を行いました。3年生にとっては、進路先を決めていくため「つかむ」ことがテーマになる実習になりました。卒業後の自分の生活についてイメージしながら取り組んだ10日間でした。3年生にとって後期現場実習は、卒業後の進路選択・自己決定していくための実習となります。今回の実習で得られたこと、改善点を振り返り、生かしてほしいと思います。2年生は、自分の適性を「見つけ、ひろげよう」というテーマの実習でした。「働くこと」の楽しさ、大変さをより具体的に経験できたと思います。後期現場実習でも、今の生活における課題の改善を進めてほしいと思います。1年生は、今回の校内実習であり、1年生は、今回の校内実習であり、慣、時間管理への意識、職場のルール・マナーを学ぶことができたと思います。今回は初めての現場実習になります。今回の実習で学んだことをしっかりと発揮してほしいです。(中村)



小学部

小学部には、3人の児童が入学しました。初めての学校や初めての先生に不安と緊張の表情を浮かべていましたが、名前を呼ばれるとにっこり笑顔が見られるなど、ドキドキとわくわくが入り交じっているような様子でした。小学部は「スマイル」を学部目標に掲げています。1年生の3人も先輩たちに負けない元気でスマイルで様々なことに挑戦し、学校生活が多いに楽しんでもらいたいです。

(尾崎)



中学部

中学部では、1名の生徒が入学しました。保護者や先生方に見守られながら温かい雰囲気で行うことができました。呼名では笑顔で手を挙げて返事をし、中学部での活動に期待と意欲を感じることができました。中学部での学習活動を通して、いろいろなことにチャレンジして経験を広げ、パワフルに成長してほしいと思います。

(田端)



高等部

高等部には、2名(写真左と中央)の新生が真新しい高等部制服に身を包んで入学しました。高等部教室では、緊張した様子も見られましたが、児童生徒会長でもある先輩(写真右)の温かい歓迎を受け、安心した様子でした。

(大瀬)



訪問教育

訪問教育の入学式は、療育センター1内で行われ、高等部1名、小学部1名、計2名の児童生徒が入学しました。保護者や病棟スタッフの方々、職員に見守られる中、二人とも堂々とした様子で式に臨むことができました。これからのいろいろなことに挑戦し、興味、関心を広げ、それぞれのいいところを伸ばして行ってほしいです。

(廣嶋)



佐敷分教室

佐敷分教室には新たに5人の生徒が入学しました。当日はやや緊張した様子でしたが、翌日の対面式では堂々と自己紹介をすることができ、レクリエーションをとって先輩たちと親睦を深めることができました。入学式の日のやる気に満ちた気持ち忘れず、様々なことに挑戦してほしいと思います。

(工藤)



交流及び共同学習「あいりす」

今年度もまだまだコロナウイルス感染拡大防止のために、交流校や事業所などの交流が思うように行うことができない状況が続いています。

そんな中でしたが、本校の小学部は1学期に佐敷小学校3年生と、自己紹介や運動会の動画で間接交流を行いました。佐敷小の友達のことを知る良い機会となりました。中学部、高等部では感染症の影響があり、直接の交流は実施できませんでしたが2学期以降、活動紹介等、間接的な交流ができるよう企画・調整を進めていきたいと考えています。佐敷分教室では5月に芦北高校体育大会に参加しました。2学期も稲刈り交流、芦高祭、リース作り交流を予定しています。

以前のように直接的な交流ができるようになるまでには、あと少し時間がかかると思いますが、みなさんに会える日を心待ちにしています。

(大塚)



運動会

心はひとつ！進め！声援！
みんなでゴー！！

今年度、本校では各学部で運動会を開催しました。

芦北高校体育大会

小学部 あしえんスマイルピッチ

小学部では「集めるボール」「つなげるボール」の2つの競技に取り組みました。団長のリーダーシップのもと、各団に分かれて涙あり笑いありの大熱戦が繰り広げられました。白団リードで迎えた当日、「集めるボール」は初めての引き分け、「つなげるボール」は赤団の勝利となり、同時優勝という結果になりました。表彰式では両団の代表の児童へ、校長先生より優勝旗を授与していただきました。小学部一丸となって頑張ることができました。（井出）



中学部 パワフルオリムピッチーゴルフ

中学部では伝統のゴルフ（ポイントゴルフ）を行いました。ゴルフとは、ルーレットで方向を決め、得意な動きでボールを打ち出し、ポイントを競い合うターゲット型スポーツです。15試合の練習を重ねるうちに生徒それぞれが力をつけ、高得点をとることができるようになりました。また、会場を装飾するために花紙をたくさんちぎり、大きな五輪マークを作る事ができました。本番は、自分の力を十分に発揮し、仲間を応援する姿が印象的でした。（吉田）



高等部 「モルックにチャレンジ」

高等部では、7月5日から9日まで「モルック」という競技にチャレンジしました。サツカーボールやスポンジボールをスロープや発射台を使い、スキットルという木の棒を倒しました。新型コロナウイルスの影響で運動会期間は短くなりましたが、期間中の結果は3人が同点になりました。勝負になりました。本番では、狙いを定めてボールを転がし、高得点を何度も取る様子が見られました。大変盛り上がり白熱した運動会になりました。（鳳凰）



訪問教育 決めろーシユートー！ ほっもんサッカー部

赤団と白団によるサツカー対決です！団員は、団長からのメッセージVTRに鼓舞され、意気込みが見られました。攻撃では、ディフェンスの位置を見て、ゴールを狙ってシュートをします。仕掛けを動かしてボールを蹴る際、指や口を動かしてスイッチを操作する姿、力強く紐を引っ張る姿などそれぞれの頑張る姿が見られています。現在、一進一退の攻防を繰り返しています。対戦相手の得点や他の友達への張りや気にする姿なども見られました。（竹下）



佐敷分教室

昨年のスポーツフェスティバルはコロナウイルス感染拡大防止により中止となりましたが、今年は芦北高校体育大会と名称を変え、佐敷分教室と合同で5月14日金曜日に行われました。マステージムではBTSの「ダイナマイト」、ナオト・インティライミの「THE WORLD IS OURS」のダンスをみんなで発表することができました。5人6脚、徒競走、芦高トライアスロン、長縄跳び、クラス対抗リレー、団対抗リレーなど、3年生の団長、副団長を中心に、短い期間でしたが一致団結して練習に取り組み、本番で素晴らしい姿を保護者や観客に見せることができました。これから芦北高校のみなさんと協力していろいろな活動をしていきたいです。（大塚）



2年ぶりにプールを行いました!

救急蘇生法研修

高等部佐敷分教室では、日常生活でよくある怪我への対処法や、応急処置の仕方について学習した後、救急蘇生法について学びました。傷病者を発見した時の対応の仕方や胸骨圧迫、AEDの使い方を学びました。最後には傷病者を発見してから、救急車が到着するまでのロールプレイングを行い、学習を深めることができました。(江口)



プールの活動の様子

今年度、高等部佐敷分教室は芦北高校のプールをお借りして水泳の授業を実施することができました。準備運動後、入水すると、生徒たちは冷たい水にびっくりしていましたが、少しずつ水温にも慣れ、気持ちよく泳ぐことができるようになりました。友達との水中じゃんけんやボール拾いなど楽しみながら水に慣れ、ビート板を使って泳いだり自分の得意な泳法で泳いだりしました。25mを目指して、最後まで一生命泳ぐことができました。(江口)



心のきずな深める月間」の取組

本校では、「みんなに一つ!大切な命」をスローガンとし、自分や友達の大切さを、映像を見ながら考えました。映像では、小さなカメラも大きなゾウも、命の大きさは変わらない、一人に一つずつ大切な命があることを学習しました。手話歌「まあるいいのち」をみんなで歌い、心の絆を深める取り組みができました。

分教室でも、映像を見ながら、命の大切さと手話歌を通して、自分の命と同時に相手の命を大切にすることについて再確認することができました。(吉田・境野)



地域支援便り

小学校・中学校・高等学校の先生方を対象としたオンライン相談会を夏季休業中に実施します。1学期を振り返って、いろいろな悩みや聞いてみたいこと等を先生方はお持ちなのではないかと思えます。一緒に考え、話をする事で、元気になってほしいと思います。そのことが子どもたちの笑顔につながっていくと考えています。

子どもたちが笑顔で、楽しく、いきいきと学校生活を送れるように、共に考えていきましょう。(深浦)



あしえんインフォメーション

○2学期の主な行事○

- ・始業式 8/26 (高・訪) 9/1 (小・中・分)
- ・現場実習 (佐敷分教室) 9/27~10/8
- ・にこにこふれあい発表会 (本校) 10/30
- ・収穫祭&販売会 in 芦高祭 (佐敷分教室) 11/5・6
- ・修学旅行 (佐敷分教室) 11/11・12
- ・終業式 12/24

緊急時や災害時等に活用する一斉メール配信システム『あしえん安全メール』の運用にあたり、下記の2社からの協賛をいただいています。

- ゆめタウン八代 様
- 熊本日新聞社 湯前販売センター 様

学校のことを知ってください。
学校にいらしてください。
学校にご協力ください。
学校にご意見ください。
学校は地域に貢献します。

「いとでんわ」は芦北支援学校の情報発信紙です。地域と共に成長する学校でありたいと考えています。関係者の皆様、地域の皆様のご意見をお待ちしています。

《御意見・問い合わせ》

TEL 0966-82-4627
FAX 0966-82-4606
MAIL ashikita-s@pref.kumamoto.lg.jp